

令和3年度農地中間管理事業の推進方針について

農地中間管理機構
(一社)岐阜県農畜産公社

1 令和2年度取組み成果と推進上の課題

事業実績からみた成果

【成果】

- 借受希望者が1,805経営体(個人1,397、法人408)となり、一定の受け手を確保。
- 機構から担い手への貸付け実績は、延べ8,480ha、令和2年度は1,110ha。
- 担い手育成(法人化)による事業の活用促進(H28～R元、15法人、R2:7法人、32ha)。
- 機構、農地利用最適化推進員等と連携した推進活動(15地区)。
- 理事長(センター長)と農業委員会長等との意見交換(H30～R2:28)による事業推進。

推進上の課題

【推進体制】

- 農業委員会組織との連携活動
- 地域でのコーディネート活動の推進
- 地域ブロック活動の強化

【推進活動】

- 人・農地プランの実質化に向けた地域での話合いの強化
- 農業委員会組織と連携した地域の推進体制強化
- 新規就農者、集落営農法人等担い手の確保
- 中山間地域、樹園地での担い手の確保

【不適正事案・今後機構業務への対応等】

- 法人(参入企業等)の撤退
- 更新業務等に対応できる体制構築
- 事務手数料等の取扱いの検討
- コロナ禍での業務の推進体制

対応方針

- ・農業委員会組織等とのモデル活動の継続
- ・農地専門員の活動強化
- ・中山間地、樹園地での重点活動の推進
- ・ほ場整備事業を活用した条件改善
- ・関係機関との連携強化による事業推進
- ・業務量増大に対応できる体制構築

2 令和3年度の推進方針(案)

① 推進体制の強化

- 「ぎふアグリチャレンジ支援センター」による、担い手の確保から農地集積の一体的な支援
 - ・就農支援、農業法人の育成・経営強化、農地中間管理事業等の推進
 - ・新規就農に向け機構事業の活用促進
- 農業委員会組織との連携強化
 - ・機構駐在員による地域でのコーディネート活動の継続
 - ・「ぎふ農業委員会活性化大作戦」等との連携による農地利用の最適化の推進
- 人・農地プランの実質化に向けた支援強化
 - ・地域の話合いによる担い手への農地集積の推進
 - ・地域でのチーム活動による担い手育成と農地集積の一体的な推進
- 県土地改良事業団体連合会等との連携強化
 - ・基盤整備地区の掘り起こしや事業化に向けた活動促進、圃場条件の改善による農地集積の推進
- 理事長、センター長による地域に足を運んだ推進活動の実施
 - ・市町村農業委員会との意見交換

② 啓発活動の強化、事業運用の改善

- 市町村、JA等連携した広報活動
- 担当者会議等による活動支援
- 優良取組事例の収集及び横展開の実施

③ 地域の話合いに基づく推進活動の強化

- 重点推進地域を設置した推進活動
 - ・担い手育成重点推進地域での集落営農の組織化、農地集積に向けた取組み強化
 - ・果樹産地協議会(柿・栗)等と連携した担い手確保と機構事業の活用
- 農業会議組織・機構による伴走方支援の強化
- 人・農地プランの実質化に向けた支援強化
- 新規就農者や集落営農組織・法人の育成、経営強化の支援

④ 中山間地域におけるマッチング推進

- 中山間地域での担い手育成への取組み支援
- モデル地域でのコーディネート活動の継続
- 人・農地プランの実質化に向けた支援強化
- 基盤整備事業を活用した圃場条件の改善

⑤ 不適正事案・今後の機構業務への対応等

- 新規就農者や集落営農組織・法人の育成、経営強化の支援
- 不適正事案の未然防止のための連携・体制強化
- 契約、更新業務への対応体制の確保
- 解約等にとまなう農地管理への対応